

徳島県主催「とくしま防災フェスタ」に参加

～ 地震保険等の自然災害に備える保険、悪質な住宅修理業者を周知 ～

日本損害保険協会四国支部徳島損保会（会長：松本 哲：東京海上日動火災保険株式会社・徳島支店長）では、日本損害保険協会が掲げる第10次中期基本計画の重点課題である「自然災害への対応力強化」、および「損害保険リテラシーの向上」の取組みの一環として、10月20日（日）、徳島県立防災センター等で開催された徳島県主催「とくしま防災フェスタ」に徳島県損害保険代理業協会と連携して参加しました。

当支部ではブースに立ち寄っていただいた約250名に「地震保険や火災保険に関するクイズ」および「ハザードマップ利用状況・悪質な住宅修理業者に関するアンケート」を実施しました。クイズやアンケートを通じて地震保険や火災保険等の必要性、防災・減災への取組みの重要性等について周知することができました。また、家族連れの来場者も多かったため、子ども用の防災クイズを通じて防災の重要性を学んでもらう機会を提供することもできました。本フェスタには、県内の約40の防災関係団体がブース等を出展しており、約2,000名の来場で会場は大盛況でした。

当支部では、引続き行政等と連携しつつ、災害に強い社会の実現を目指して、防災意識向上に係る取組みを推進してまいります。

【クイズやアンケートの回答を踏まえた傾向】

- ・地震、噴火またはこれらによる津波を原因とする損害は火災保険で補償される、地震保険では「家財」は補償の対象外である等、誤った認識の方が約35%いることを確認できました。
- ・「ハザードマップを見たことがある」と多数の方が回答していることが確認できました。
- ・保険を使って無料で住宅修理ができる等、悪質な住宅修理業者から不審な勧誘があった場合、多数の方が「お断りする」と回答しており、普段から悪質な住宅修理業者に注意していることを確認できました。



クイズとアンケートに回答する来場者（大人）



クイズに回答する来場者（子ども）



人気で列ができるブース前の様子



運営メンバーで記念撮影